



社会福祉法人 のぞみ会 特別養護老人ホーム のぞみの杜



施設の歴史・特徴

平成6年12月開所。始まりは地域の方への恩返し。住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、熱い思いで設立したのぞみ会。縁あって一つ屋根の下、入居者に喜んでいただくことと必死にケアにあたっていました。認知症の方が次々に入居され、専門性の薄い対応から現場は混乱、お一人おひとりが見えてないことにも気付き、開設時の思いと理念に沿った対応ができていないのか苦悩の日々がありました。そこで、平成10年多床室でのグループケアの取組みを開始、これがのぞみ会ユニットケアの始まりです。平成19年には、2ユニット（20床）を個室ユニット型に増築、平成25年度には大規模改修により、全個室ユニット型へ転換、更に個別ケアへの取組みを深めてきました。何度も失敗を繰り返し、チャレンジの繰り返しを経て、常に進化すること、また考える介護を追求し、のぞみ会の理念である「高齢者が自立し、安心して地域社会の中で心豊かに生活できるよう支援する。またそれを通じて地域社会に貢献する」という目標に向かって日々取り組んでいます。



研修の取り組み

事業所内研修では認知症、医療の知識、ポジショニングと定期的開催する研修に自ら選択して参加できる研修サークル制とし、自主性で参加するシステムを取り入れて行いました。出張外部講師によるリスクマネジメント、会議の在り方・記録の取り方、接遇マナー、チューター制度とは、等も学び深めています。

人材育成

人事考課制度でのキャリアパス、現場でのOJT指導、チューター制度を活用し、未経験者でも安心してスキルアップが図れるようサポートしています。また30年度4月より企業主体型保育園を増設、子育て世代の活躍の場を提案し、安心して働ける環境を整備しています。

〒851-2126 長崎県西彼杵郡長与町吉無田郷1578
TEL: 095-887-3333 FAX: 095-887-3599
ホームページ: <http://www.nozominomori.or.jp>

施設で特に力を入れている取り組み

平成15年よりソフト食導入、平成24年より新調理システム導入、地産地消への取り組みを行なっている。平成16年よりISO9001:2000認証取得、品質マネジメントの強化を図る。

平成29年よりノーリフトへの取り組み開始、プロジェクトチーム発足してICT・介護ロボット導入に力を入れ、床走行型移乗リフト、HUGでの移乗・排泄サポート、眠りスキャン、スマホやタブレット入力での記録システム等を取り入れている。またスタッフ主体で各種プロジェクトチーム中心に夏祭り、フェス、みんな食堂、セミナー等、地域貢献活動を行っている。



施設長から実習生へメッセージ

のぞみの杜では、これまで様々な手法を取り入れ、多くのことにチャレンジして参りました。その中では、当然多くの失敗もあり、反省も多々あります。しかし、共に働く仲間と共に、目の前にいらっしゃる高齢者の暮らしが少しでもより良い方向へと模索した日々が今の個別ケアに繋がっていると感じています。これから、ますます多様化、複雑化するニーズにおいて、更に専門性を高められるよう、共に学んで参りましょう。

実地研修タイムスケジュール

| 1日目 | 2日目 | 3日目 | 4日目（プレゼン） |
|-------------|------------|------------|------------|
| 11:00～20:00 | 8:30～17:30 | 7:15～16:00 | 8:30～12:30 |

お食事代：昼食（350円）

施設情報

| | | | |
|----------------------|---|----------------------|-----------------------|
| 施設長 | 池原 香 | 受入担当者 | 武川敦子・出口哲也・恵比根誠 |
| 人員配置 (令和2年4月現在) | 1.8:1 (看介護専門職) | 非正職員比率 (令和2年4月現在) | 正 2.8:非 1 (看介護専門職) |
| 平均要介護度 (令和2年4月現在) | 4.2 | ユニットケア導入時期 | 平成19年4月1日 |
| ユニット数 | 6 (内ショート1) | | |
| ショートユニット 形態 | 個室ユニット型 10名 (1ユニット) 併設従来型 18名 (4人部屋2室、2人部屋3室、個室4室) | | |
| アクセス | JR長崎駅からJR線で16分 (長与駅下車) 徒歩10分 JR長崎駅から長崎バス35分 徒歩1分 〔「のぞみの杜入口」または「長与ニュータウン」下車〕 | | |